

平成23年6月23日（木）

件 名 中国四国防衛局長の来庁について
概 要 このことについて、下記のとおりお知らせします。

記

- 1 日 時 平成23年6月23日（木）10時30分～11時55分
- 2 場 所 市長応接室
- 3 来庁者 中国四国防衛局長 辰 己 昌 良（たつみ まさよし）
- 4 応対者 岩国市長 福 田 良 彦（ふくだ よしひこ）
- 5 市長コメント

本日は、中国四国防衛局長から日米安全保障協議委員会共同発表の内容について説明を受けたところです。

平成22年度から国土交通省において岩国空港整備の予算が計上され、現地においても実際に工事が始まるなど、岩国錦帯橋空港の開港に向け着実に進んでいると期待に胸ふくらませていたわけですが、本日の報告をうけ、またひとつ大きく前進したと感じており、喜びもひとしおであります。

今後も、岩国錦帯橋空港が、利用しやすい空港となるために、山口県や関係機関と協力し、羽田発着枠や運行時間帯等の残された課題についても、これまで以上に精力的に取り組んでまいりたいと考えています。

また、米軍再編に対する市の基本姿勢は、今回の共同発表の内容によって変わりではなく、今後も、市民の安心・安全対策や地域振興策の確保について、国と継続して協議を行ってまいりたいと考えています。

※日米安全保障協議委員会共同発表（抜粋）

ＳＣＣ（日米安全保障協議委員会）の構成員たる閣僚は、2010年5月28日のＳＣＣ共同発表及び本日のＳＣＣ会合において発出されたＳＣＣ文書「在日米軍の再編の進展」によって補完された2006年5月1日のＳＣＣ文書「再編の実施のための日米ロードマップ」において述べられている再編案を着実に実施する決意を再確認した。

※日米安全保障協議委員会文書「在日米軍の再編の進展」（抜粋）

厚木飛行場から岩国飛行場への空母艦載機部隊の移駐

- ・ 閣僚は、空母艦載機の岩国飛行場への移駐に必要な施設の整備及び航空管制の手續を含む訓練空域の調整に関するこれまでの進展を歓迎した。
- ・ ＳＣＣの構成員たる閣僚は、日本の2012会計年度中の岩国飛行場における民間航空の再開に向けて作業することを決定した。
- ・ 日本政府は、新たな自衛隊の施設のため、馬毛島が検討対象となる旨地元の説明することとしている。南西地域における防衛態勢の充実の観点から、同施設は、大規模災害を含む各種事態に対処する際の活動を支持するとともに、通常の訓練等のために使用され、併せて米軍の空母艦載機離発着訓練の恒久的な施設として使用されることになる。閣僚は、長年にわたる問題の解決は、同盟への極めて重要な前向きな貢献となると認識した。

【担当課】

岩国市総合政策部政策企画課
総合政策部基地政策課

TEL 0827-29-5013
TEL 0827-29-5024